

The SCSK logo is rendered in a bold, blue, sans-serif font. The letters are closely spaced, with the 'S' and 'C' being particularly prominent. The background features several overlapping blue arcs that create a sense of motion and depth.

夢ある未来を、共に創る。

# OSSユーザーのための勉強会 < OSS X Users Meeting >

---

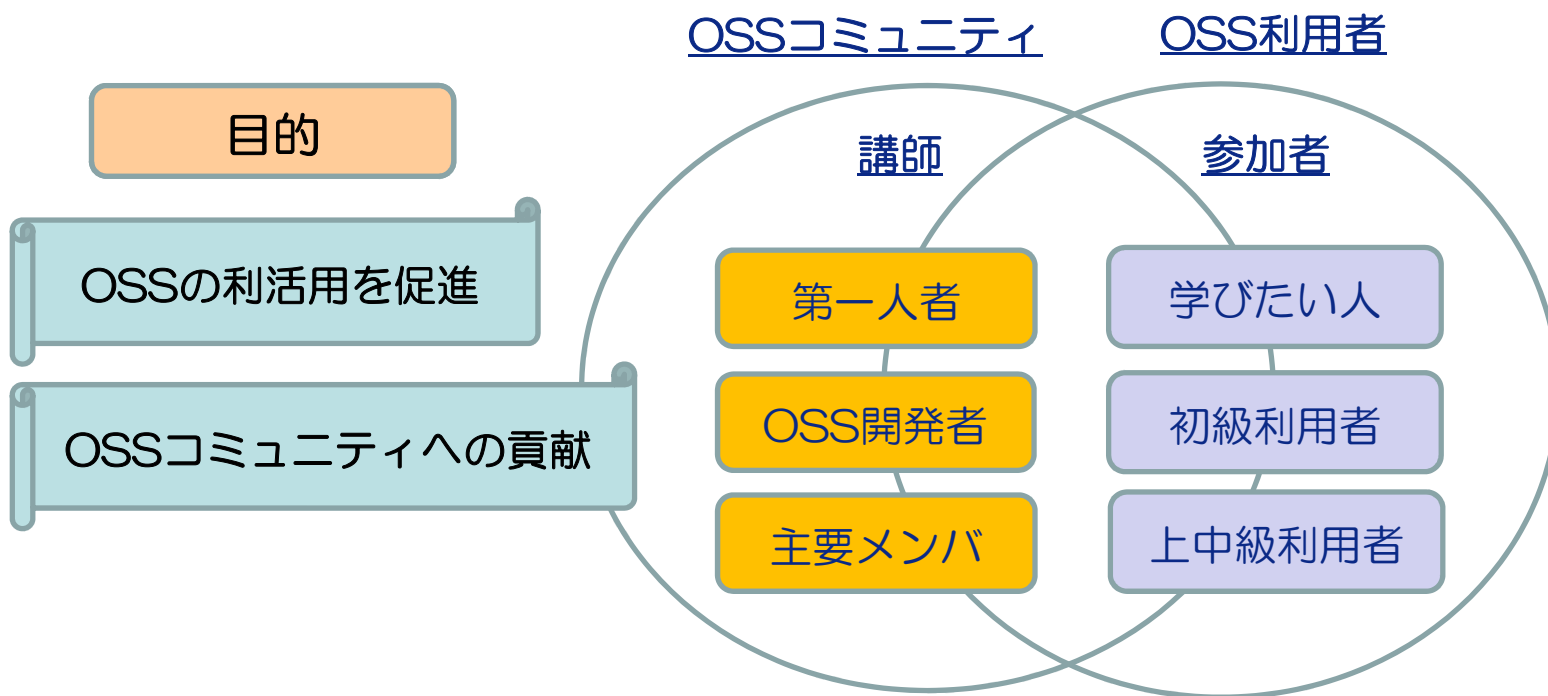
2017年3月21日

R&Dセンター OSS戦略企画室

SCSKでは、NPO法人トップエスイー教育センター協賛、国立情報学研究所（NII）GRACEセンター協力の下、注目すべきOSSをテーマに、開発コミュニティの当事者とこれからOSSを学びたい人との交流・相互理解を通じて、共に見識を高めるための勉強会シリーズ「OSSユーザーのための勉強会 <OSS X Users Meeting>」を、2012年10月より開催し、お陰さまで今年で5年目を迎えました。

注目のOSSをテーマに、2・3ヶ月に1度開催

4年間で17回開催し、21のOSSを取り上げる



勉強会の様子



講師・参加者の懇親会での交流



テーマとなるOSSの第一人者による解説

毎回60名程度のお申込みを頂き、延べ1,000名超

日本IBM

レッドハット

Google

日本OpenStackユーザ会

NTTデータ

富士通研究所

日本電気

日本Cloud Foundryグループ

フューチャー  
アーキテクト

インターネット  
イニシアティブ

東芝情報  
システム

日本Springユーザ会

Yahoo Japan

アシスト

オージス総研

日本MySQLユーザ会

トレタ

Fringe81

スタイルズ

日本JobScheduler  
ユーザグループ

オリンパスソフトウェア  
テクノロジー

CMSコミュニケーションズ

ZABBIX-JP

Zabbix Japan

Tremaチーム

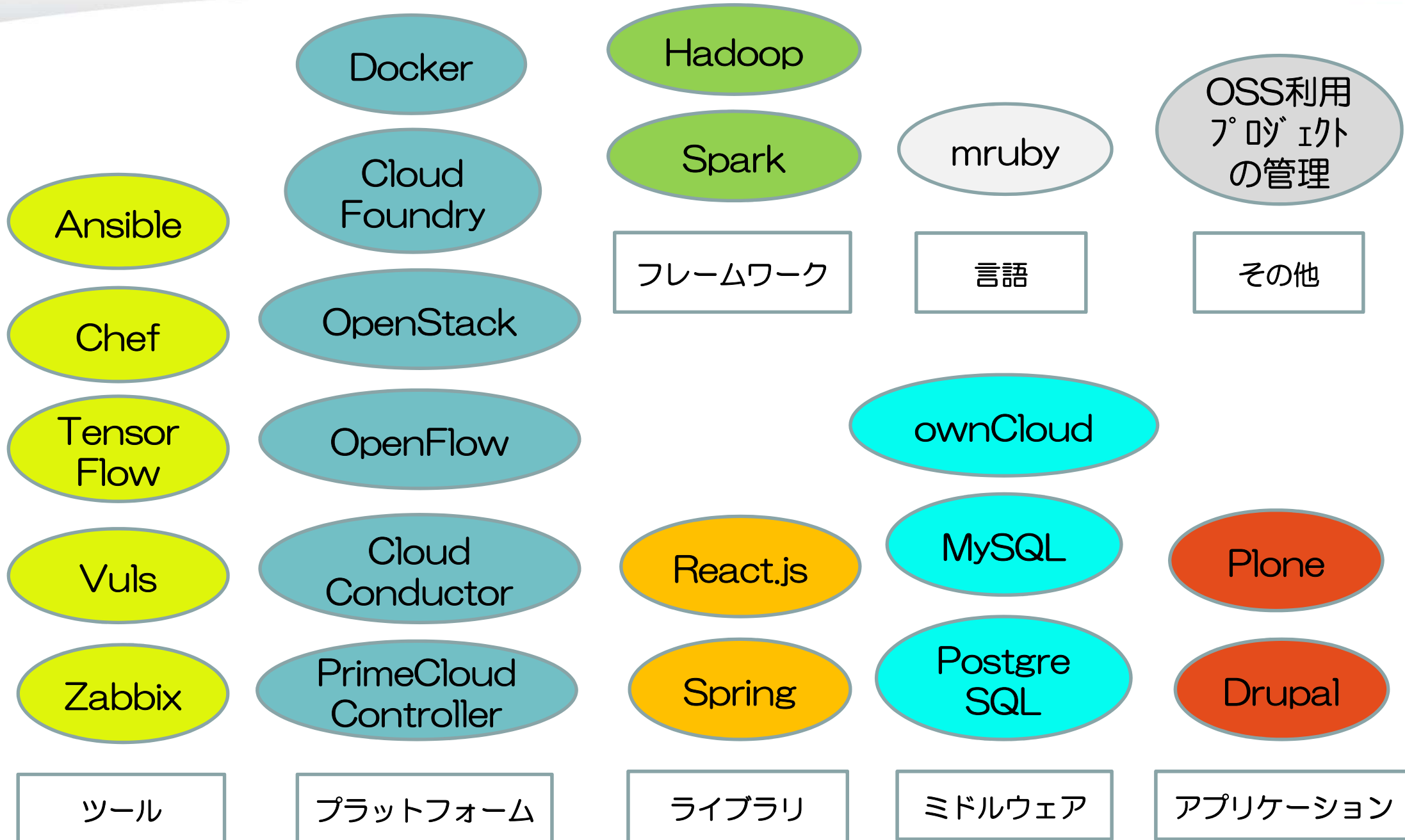
おおよそ40の組織の方々にご協力いただき、  
講師を務めていただきました。

(比較的、最近ご協力をいただいた組織の抜粋)

日本OSS推進フォーラム

国立情報学研究所

「OSSユーザーのための勉強会」で取り上げたテーマ (OSS)



# 「OSSユーザーのための勉強会」の講演資料、ビデオ映像

弊社ホームページの「オープンソースへの取り組み」で公開  
 ( <http://www.scsk.jp/product/oss/index.html> )

講演のビデオ映像は、本勉強会にご協力頂いている  
 NIIが運営するソフトウェア開発者のための動画学習サイト  
 「開発深知」 ( <https://devshinchi.jp/> ) に掲載

**COMMUNITY VALUE ~OSSコミュニティへの関わり~**

SCSKでは、選定支援ツールや技術レポートといったOSSに関する最新情報に加え、ユーザーのための勉強会など、コミュニティとの関わりも積極的に行っています。

**OSSの選定に便利なクイックアセスメント支援ツール「OSS Radar Scope®」**

OSS Radar Scope (R)は、「計画的なバージョンアップがある」「バッチリリースの頻度が高い」「出版された書籍の冊数が多い」などの客観的な活動を集積し、コミュニティからの評価を1つのレーダーチャートにマッピングしたものです。さまざまなOSSの概況の可視化を通じて、OSS選定に役立つ目安をご提供します。これらの情報を基にSCSK独自の基準で評価した結果をランキング形式で提示しています。当該基準については、詳細を公開し、透明性を確保しています。OSS選定の際のビジネス条件と併せて、ご参照ください。

**OSS Radar Scope®はこちら**

**OSS技術検証レポート**

SCSKでは、OSS先進技術及び商用システムの利用性について、両面の調査研究及び検証を行い、技術レポートとして定期的に公開しています。これら技術情報の蓄積を、OSS開発者だけでなくお客さまにもフィードバックさせていただくことで、課題解決に向けて共に考え、最適解を見出したいと考えています。

**OSSユーザーのための勉強会**

SCSKでは、OSSユーザーのための勉強会「OSS X Users Meeting」を定期的に開催しています。注目のOSSコミュニティの当事者と、これからOSSを学びたい人との交流・相互理解を通じて、共に見識を高めるための勉強会です。興味のある方はぜひご参加ください。

**勉強会資料アーカイブはこちら**

今回の勉強会は「#18 AI / Deep Learning」2017年3月21日(火)開催

**OSSユーザーのための勉強会資料**

講演の模様を収録した映像は、勉強会にご協力いただいた国立情報学研究所(NII)が運営する「開発深知-ソフトウェア開発者のための学習サイト」に掲載されています。

No	勉強会タイトル	講演タイトル	講演者	発表日
#17	AnsibleとChef	「サーバー設定自動化は経営課題～CHEFの歴史と特徴～」	日本アイ・ビー・エム株式会社クラウドテックカル・サービス エキスパート/クラウドソリューションアーキテクト IBMクラウド エバンジェリスト 高良 真穂	2017/2/23
		TANIBLEご紹介～AUTOMATION FOR EVERYONE～	レッドハット株式会社 テクニカルセールス本部 パートナー/ソリューションアーキテクト シニア/ソリューションアーキテクト 安藤 宗一郎	2017/2/23
		ライティングトーク ①「利用者視点である10分でAnsible」 ②「Puppetが件外れにされてしまうので、呼ばれていないPuppetの最新動向を話すよ」	日本OpenStackユーザー会 齊藤 秀喜 落合 秀成	2017/2/23
#16	Vuls	「セキュリティの現状とOSSの応用」	フューチャーアーキテクト株式会社 スペシャリスト 林 義二郎	2016/11/22
		「脆弱性スキャナーVuls徹底入門」	フューチャーアーキテクト株式会社 スペシャリスト 神戸 廣多	2016/11/22
		ライティングトーク 「Vuls+OpenVAS+AWS Inspectorで脆弱比較」	牛田 隆之	2016/11/22